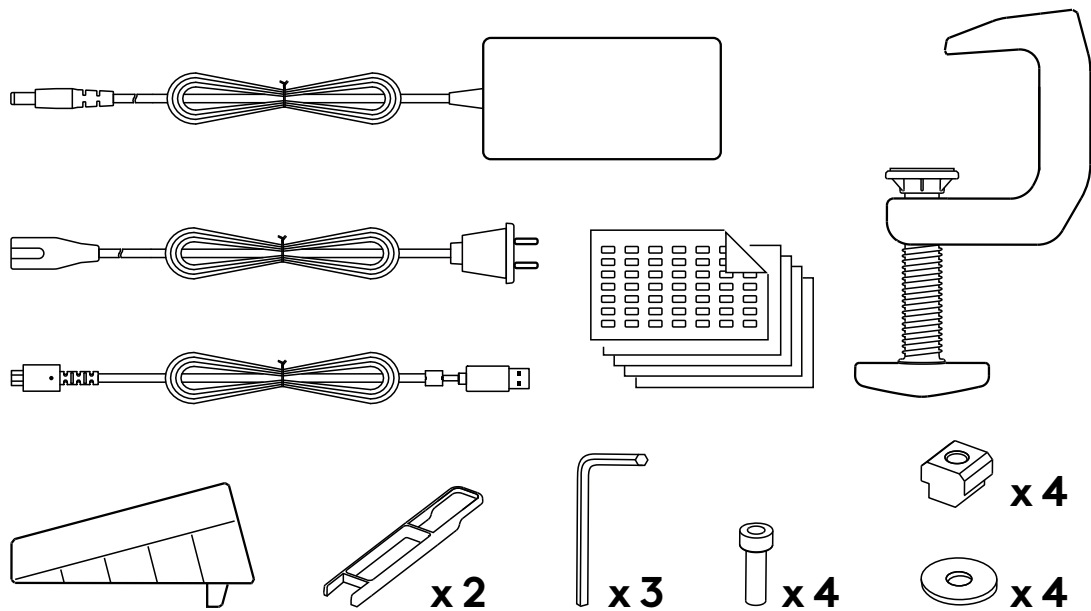
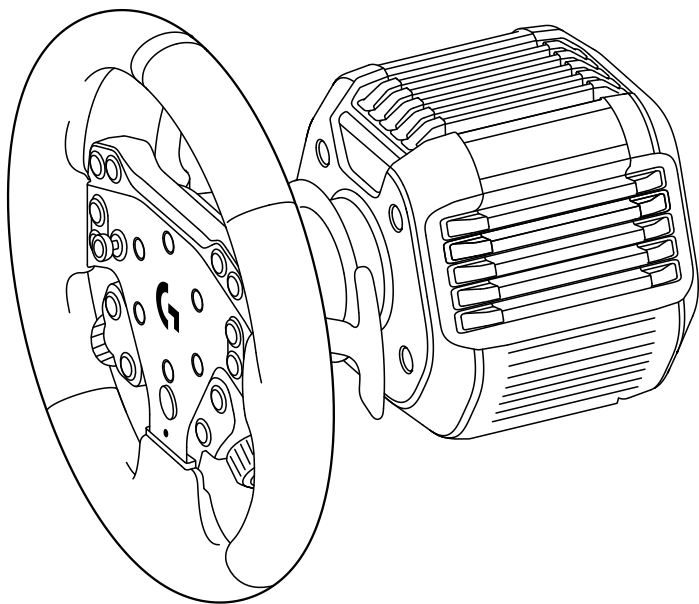


RS50 SYSTEM/BASE

PlayStation®5コンソール、PlayStation®4コンソールおよびPC用
セットアップガイド





- RS50 BaseにはRS Wheel Hub、RS Round Wheel、デスクマウント/クランプ、ステッカーは含まれません。

接続性

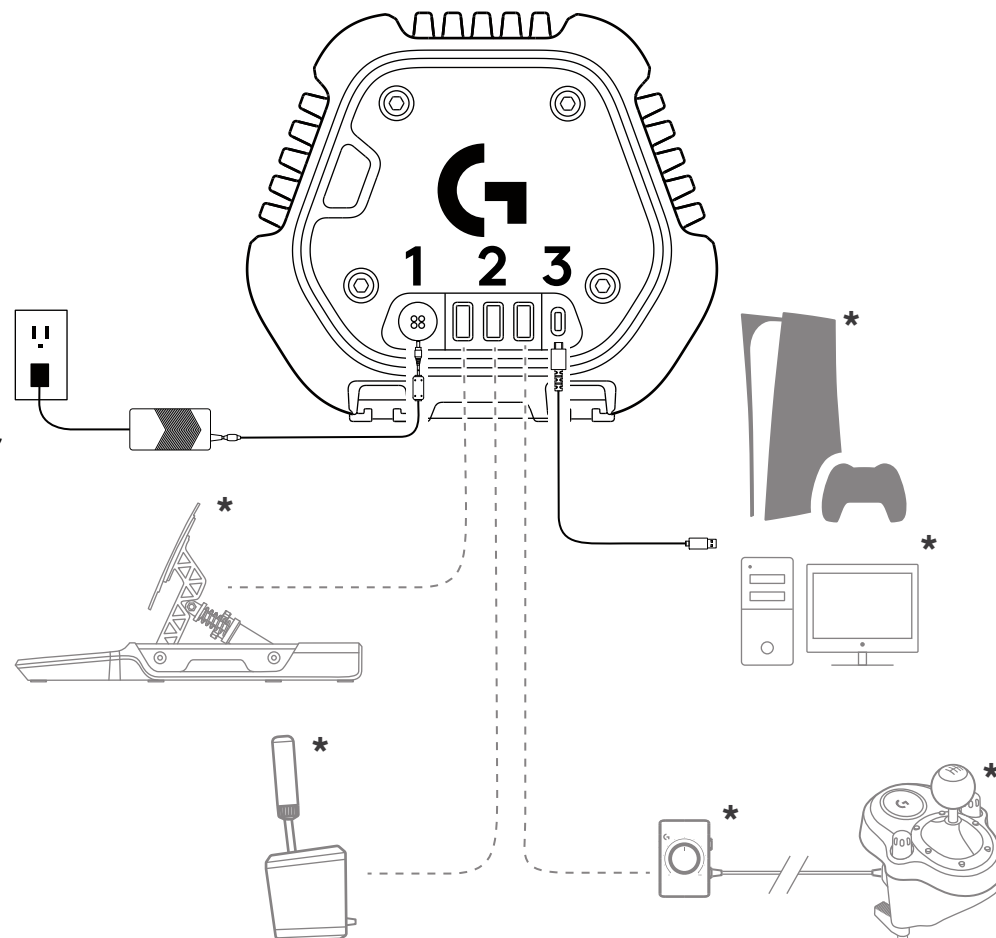
1 電源コネクタ

2 周辺機器のポート¹

3 PC/コンソールへのUSB接続

¹注：標準USB接続ではありません。これらのポートでは、ロジクールレーシング周辺機器のみが機能します。その他のUSB周辺機器は機能しないため、接続しないでください。

* 別売



取り付け

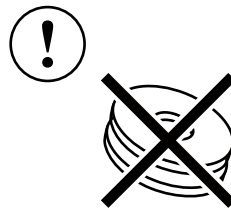
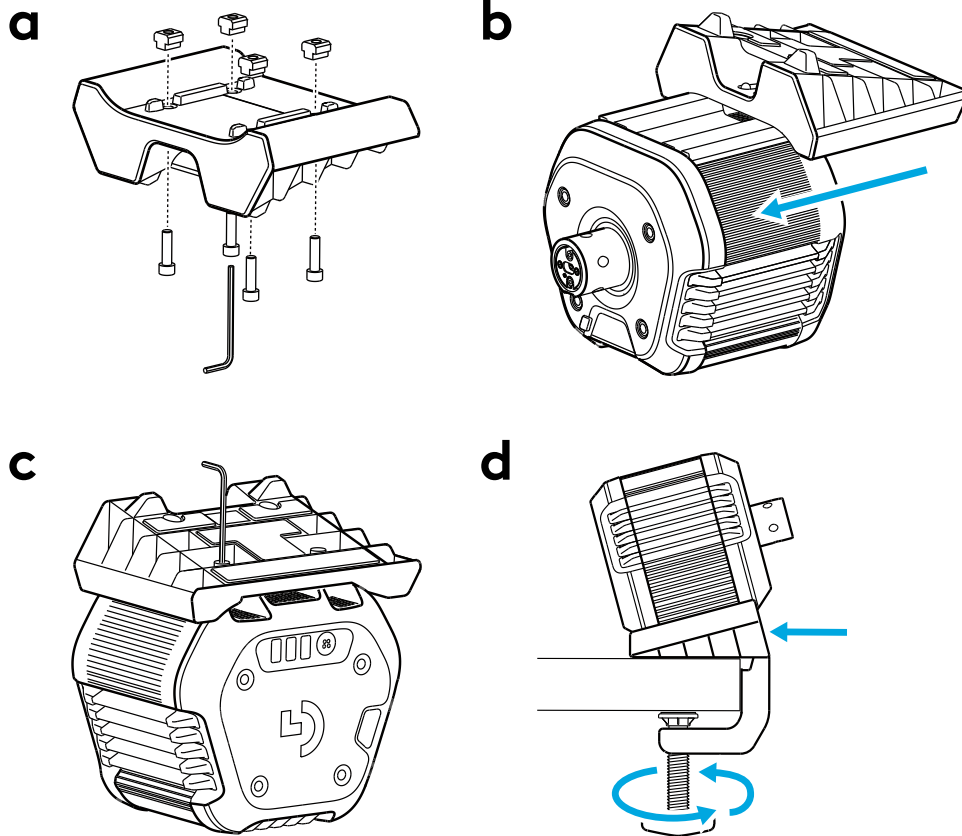
デスク

(RS50 Systemをお持ちの方、またはテーブルクランプを別途ご購入のRS50 Baseをお持ちの方向け)

- a. 指示に従って各Tナットをデスクマウントに取り付け、完全に締まっていることを確認します。次のステップでは緩める必要があります。デスク上に設置する場合、付属のワッシャーを使用する必要はありません。
- b. ホイールベースを逆さまにしてデスクに置き、デスクマウントをホイールベースの底面にあるスロットに差し込みます。ベースの背面(USBポートがある場所)から前面に向かって止まるまでスライドさせます。
- c. 六角レンチでボルトを締め、デスクマウントを所定の位置に固定します。
- d. 組み立てたベースとデスクマウントをデスクの上に置き、底部の足が端に揃うようにします。クランプを前面の穴に差し込み、ネジのハンドルを調節して締めます。クランプがデスクに接触したら、ハンドルを半回転～一回転させて、正しい締め付け具合にします。ネジは締めすぎないでください。

注:

- デスクの上に設置する場合は、ワッシャーは不要です。これは、レーシングシートにアップグレードすることになった場合に備えて大切に保管しておいてください。
- また、お使いのデスクの構造と、高トルクのホイールを固定するのに適しているかどうかを確認してください。一部のデスクは中空コア構造を備えています。たとえば、素材の上部片と下部片がある場合、これらの片は薄い場合が多く、ホイールを所定の位置に固定した時に加えられた力に耐えられない場合があります。



レーシングシート

RS50 Systemでは、ほとんどのシミュレーションレーシングシートの取り付けにTナットを採用しています。パッケージには、Tナット同士の間隔を保つための補助ツールが2つ同梱されています。ツールを使用してレーシングシートで間隔を確認し、Tナットが補助ツール内で適切に配置されていることを確認してください。これにより、Tナットがレーシングシートのホイールプレートの穴と一致するようになります。

a.Tナットを、レーシングシートのホイールプレートの穴間隔と合う正しい位置で補助ツールに挿入します。

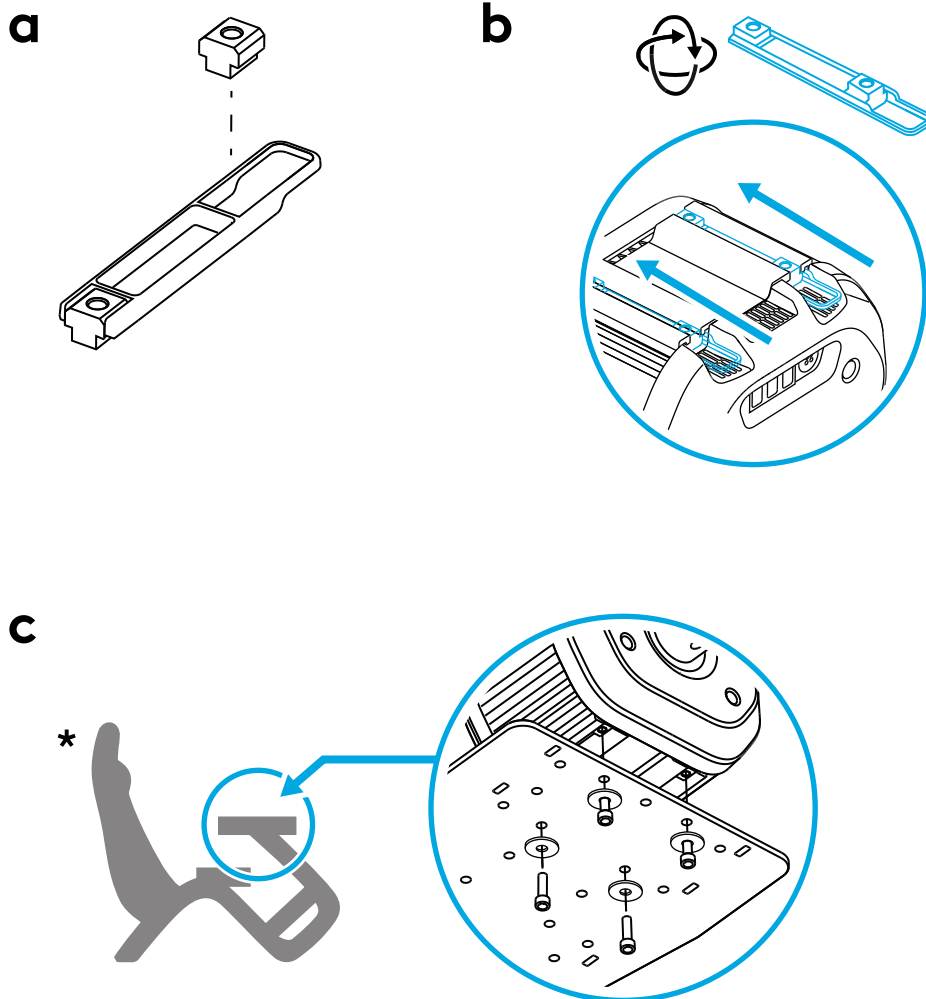
b.補助ツールをRS50 Baseの底面のスロットに挿入します。

c.Tナットの位置が所定の穴と一致するように、ベースをレーシングシートのホイールプレートにセットします。ワッシャーを忘れずに使用しながら、M6ボルトで固定します

注：レーシングシートのモデルによっては、4つのTナットすべてに一致する穴があらかじめ開けられていない場合があります。その場合、Tナットを2つだけ使用しても構いませんが、そのボルトは完全に締めて、使用中にベースが動かないようにしてください。

警告：レーシングシートの乗り降りの際、ステアリング ホイールを支えとして使用しないでください。RS50 Systemを損傷する可能性があります。

* 別売



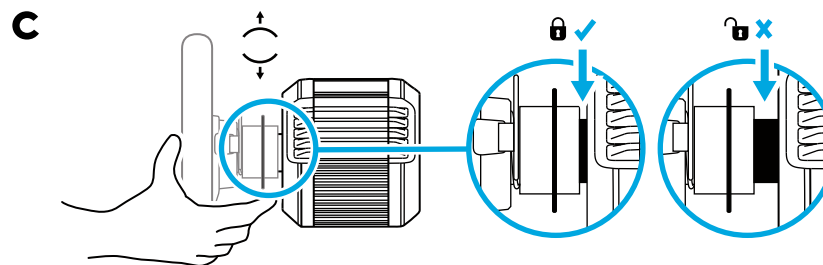
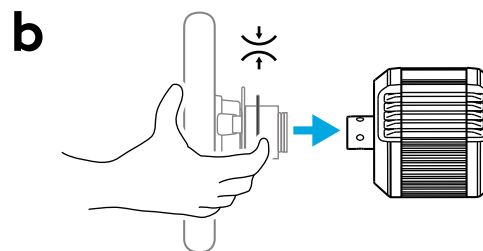
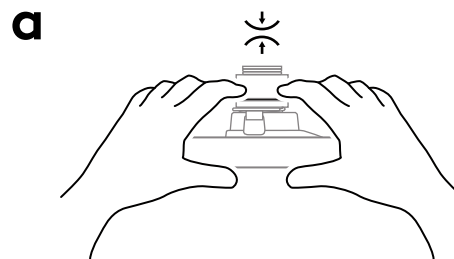
ケーブルとホイール リムの取り付け

電源アダプターを背面のポートに接続し、ケーブルとポートに負担がかからないようにします。その他の対応するロジクール製のレーシング周辺機器を背面のポートに接続し、付属のUSBケーブルをPCまたはコンソールに接続します。

シャフトが正しく揃っていることを確認しながら、ステアリング ホイールをホイールベースに接続します。

- a. ステアリング ホイールを取り付ける際にクイックリリースリングを締める必要があります。
- b. ホイール リムをホイールベースのアダプターに止まるまでしっかり押し込みます。
- c. クイックリリースリングから手を放します。

注：RS50 Baseはホイールは別売りです。



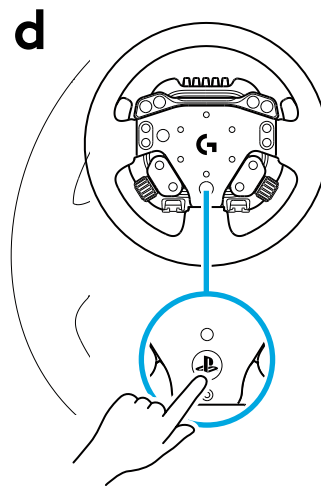
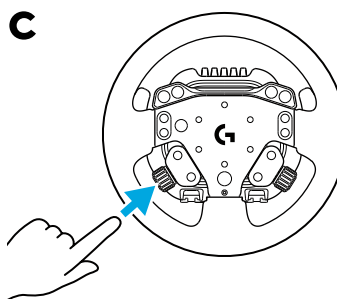
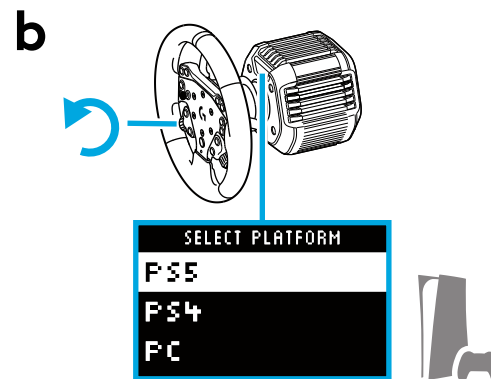
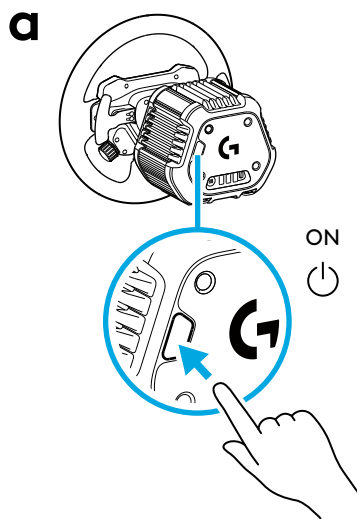
電源とソフトウェア

- a. ホイールの電源を入れるには、ホイールベース背面にあるスタート/ストップボタンを押します。
- b. ホイールベースの設定ディスプレイに、使用するプラットフォームを選択するように促すメッセージが表示されます。ステアリングホイールの左または右のダイヤルを使って、プレイするプラットフォームを選択してください。c. カチッと音がするまでダイヤルを押し込んで選択します。
- d. PSボタンを押してログインし、ホイールを希望のプレイヤー プロファイルと同期させます。

- コンソールでプレイするには、お好きな対応ゲームをロードするだけで、レーシングを開始できます。
- PCでは、まず最新バージョンのロジクールG HUBソフトウェアを、gaming.logicool.co.jp/ja-jp/innovation/g-hubでダウンロードして、インストールする必要があります。インストールしたら、お好きなタイトルでレーシングを開始できます。一部のタイトルでは、ホイールを機能させるために、まずゲームのコントロール設定でホイールを構成する必要があります。

タイトルによっては、ホイールを動作させたり、セットアップを簡素化したりするために、PRO互換モードを使用することが必要な場合があります。この利用方法の詳細は、マニュアル内の、設定ディスプレイに関するセクションを参照してください。

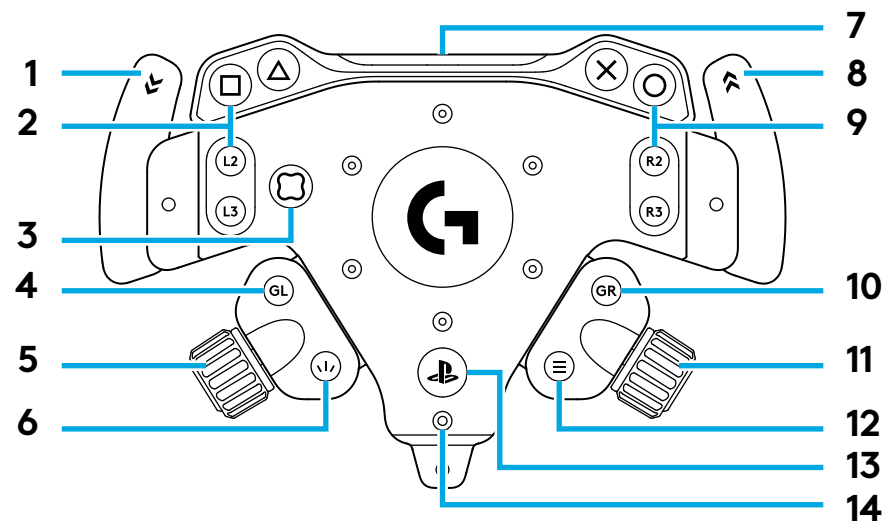
終了したら、スタート/ストップボタンを2秒間長押ししてホイールの電源を切ります。手動でホイールの電源を切ることを忘れた場合は、5分後に自動的に電源が切れます。



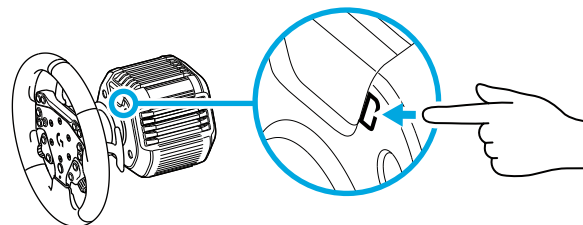
機能

番号	RS50 (PlayStation/PC用)
1	▽ L1 (ギアダウン)
2	△、□、L2、L3ボタン
3	方向パッド
4	GLボタン*
5	左調整ダイヤルとプッシュボタン*
6	⏏ 作成 (PS4™ではSHARE) ボタン
7	RPM LED
8	⬆ (ギアアップ)
9	X、○、R2、R3ボタン
10	GRボタン*
11	右調整ダイヤルとプッシュボタン*
12	≡ オプション ボタン
13	Ⓜ PSボタン
14	モードLED

* コンソールでサポートされているゲームが必要です。ゲーム内の割り当てまたはロジクールG HUBソフトウェアを使って、PC上のゲームで割り当てることができます。



有機ELディスプレイの設定表示および設定ボタン。

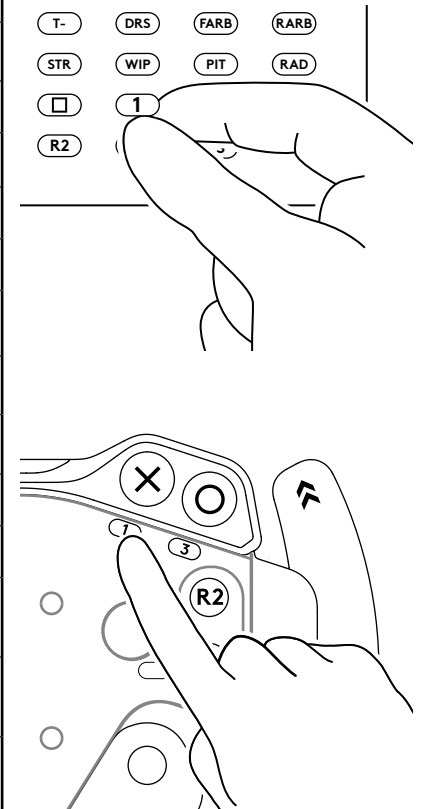


PCでのボタンの割り当て

PCでRS50を使用する場合、多くのゲームタイトルでは、ステアリングホイールのボタンで見られるアイコンが表示されず、代わりに一連の数字で各ボタンを区別します。この表は、その違いを理解するのに役立ちます。

RS50 Systemには、各ボタンに適切なラベルを付けるための数字の書かれたステッカーのセットが同梱されています。

PCボタン番号	PlayStation
1	×
3	○
2	□
4	△
8	L2
7	R2
12	L3
11	R3
28	PS
9	↖ ↗
10	≡
29	GL*
30	GR*
22	
23	
24	
25	
26	
27	 *

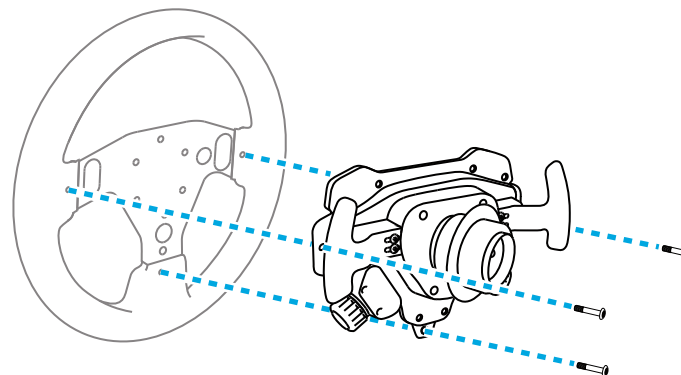


* コンソールでは、アスタリスクの付いたボタンは、それをサポートする新しいタイトルでのみ機能します。

ステアリングホイールの交換

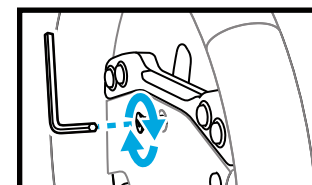
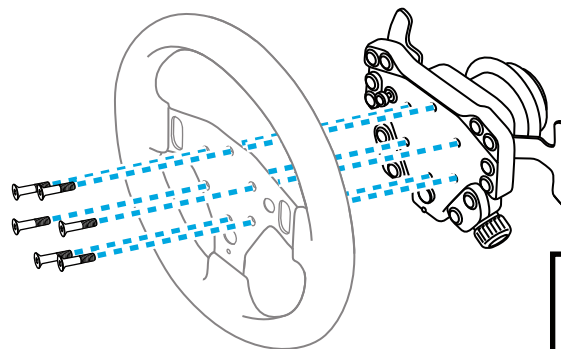
RS50 Systemに含まれるステアリングホイールは、RS Wheel HubとRS Round Wheelの2つの製品で構成されています。RS Round Wheelを取り外して、RS Track Wheelなどの、他の形状の別売りステアリングホイールを取り付けることもできます。以下の指示に従ってください。

- 1 パッケージに同梱されている小さな六角レンチを使用して、ステアリングホイールの後部にあるM3ボルト3本を取り外します。まず六角レンチの短い片を使って緩め、その後ボールヘッド側の長い片に持ち替えて完全に取り外してください。ギアシフターパドルを取り外して、その後ろのボルトに手を届きやすくすることもできます。



*ステアリングホイール別売

- 2 パッケージに同梱されている大きめの六角レンチを使用して、ステアリングホイールの前面にあるM5ボルト6本を取り外します。
- 3 RS Round Wheelを持ち上げて取り外します。
- 4 RS Track Wheelに交換したら、今度は逆の手順で、まずM5ボルト6本を締め、次に背面のM3ボルト3本を締めて、確実に固定します。

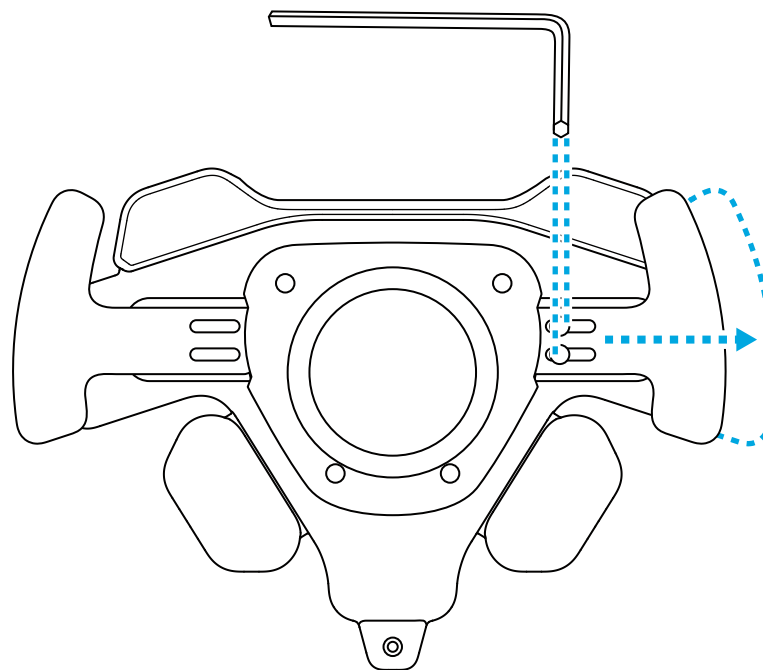


ギアシフターパドルの調整

パドルは、手のサイズに合わせて幅を調整できます。また、ホイールハブに大きなステアリングホイールを取り付けることもできます。ギアシフターのみを単独で使いたい場合は、パドルを完全に取り外すこともできます。

- 1 付属の六角レンチを使って、シフター背面の2本のボルトを緩めます。
- 2 シフターを必要な位置までスライドさせたら、ボルトを締めます。

ギアシフターパドルを完全に取り外す場合は、今後使用する場合に備えて、ボルトを穴に挿入したまま安全に保管しておくことをお勧めします。

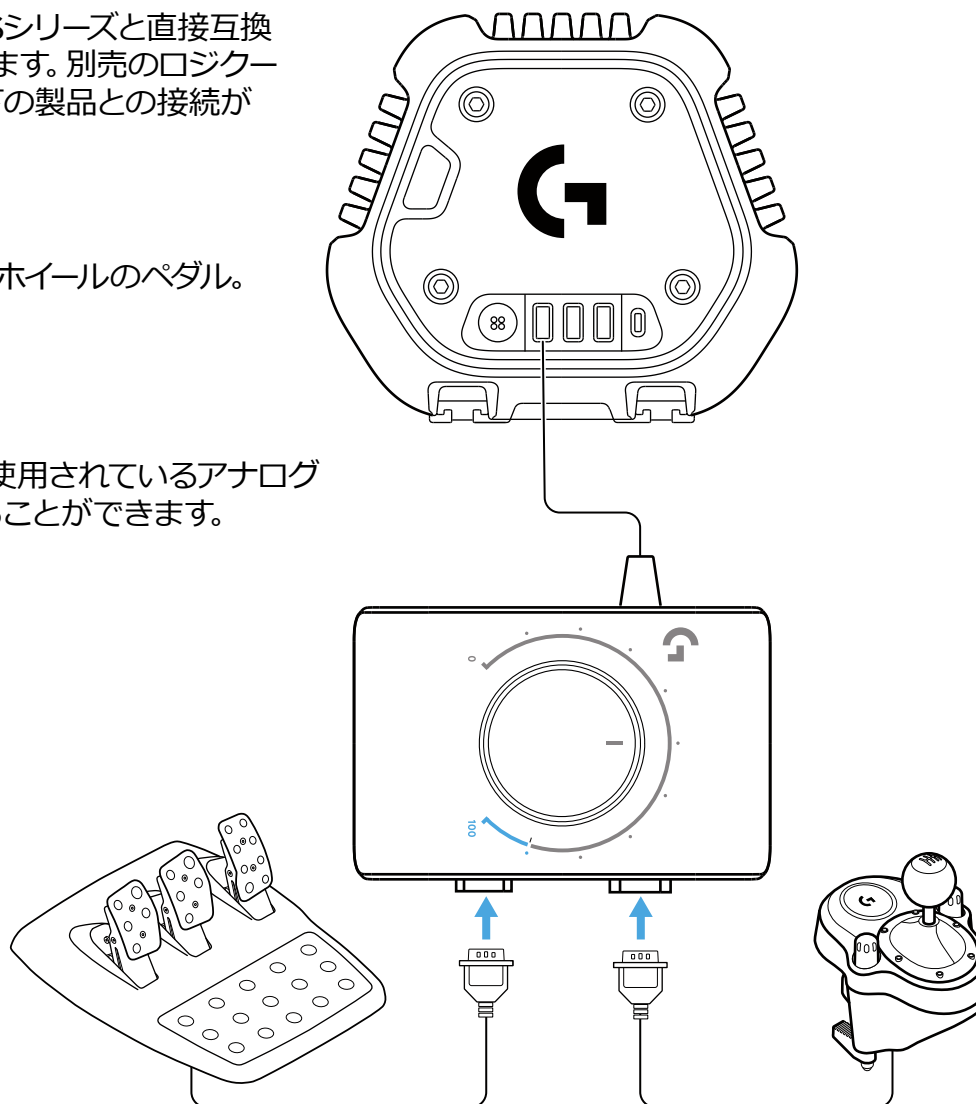


旧ロジクールレーシング製品との互換性

RS50は、レーシング製品のPROシリーズおよびRSシリーズと直接互換性があり、一部の旧ロジクール製品とも使用できます。別売のロジクールGレーシングアダプターを使用することで、以下の製品との接続が可能になります。

- G25、G27、G29、G920、G923のステアリング ホイールのペダル。
- Driving Forceシフター

レーシングアダプターを使えば、これらの製品で使用されているアナログ9ピン端子の製品をRS50の背面ポートに接続することができます。



フォース フィードバックと安全性

ロジクールRS50 Systemにはダイレクトドライブモーターが搭載されており、対応するゲームやシステムでフォース フィードバックを提供します。対応タイトルでは、以下のロジクールGの次世代フォース フィードバック技術を体験できます。TRUEFORCE

TRUEFORCEはゲーム内のアクションやオーディオと直接連携し、高解像度かつリアルタイムなフォース フィードバックを実現します。タイヤのグリップ、コースの路面、サスペンション、重量、馬力、さらには独特のエンジン音の響きまでも、ホイールを通じて即座かつ精確に感じ取ることができます。対応ゲームの一覧については、gaming.logicool.co.jp/ja-jp/support/RS50-Systemをご覧ください。

警告：ホイールのダイレクトドライブモーターから強い力（最大8Nm）が発生することがあるため、慎重に扱わないと怪我をするおそれがあります。ホイールを使用するにはご注意ください、ユーザーの皆様それぞれにとって快適で安全なレベルにフォース フィードバックを設定してください。

本製品は、14歳未満のお子様による使用を意図されていません。お子様がいるところで製品を使用する場合は十分に注意してください。

シミュレーションレース中にクラッシュすると、ステアリングホイールが予期せず激しく動き、手から離れることがあります。無理に押さえつけようとすると、怪我の原因になるため絶対にやめてください。ホイールの動作を止めるには、ゲームを一時停止してください。PCの場合は、キーボード（ゲームによって異なる場合がありますが、通常はEscapeキー）で一時停止できます。コンソールの場合は、必要に応じてホイールのUSBケーブルを抜いてください。

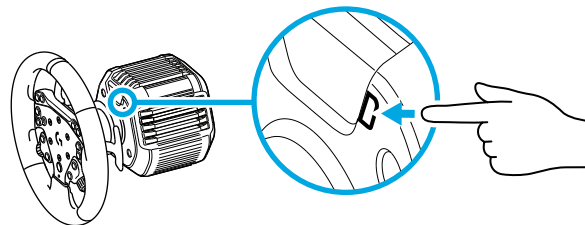
ホイールに最大限の力をかけた状態で長時間のレーシングセッションを行うと、RS50の特定の部分、特にホイールベースのアルミニウムケーシングに触ると熱くなっていることがあります。RS50は、ケーシングの温度が60°Cを超えないように設計されています。ユニットが熱くなった場合は、RS50を冷ましてから、ホイールを取り外したり、ベースをその取り付け位置から動かしたりすることをお勧めします。

安全な動作温度を維持するためには、エアコンを使用して部屋の室温を下げたり、扇風機の風をベース全体に当てたりすることをご検討ください。

設定

ホイールベース上の[設定]ボタンを押して、[設定]メニューにアクセスします。[設定]メニューで、5個のオンボードプロファイル内で、ホイール（および、取り付けられている場合はペダル）の様々な設定を構成することができます。あるいは、PCに接続されている場合は、現在アクティブなプロファイルをG HUB内で直接調整することができます。ゲームタイトルを変更する時（または同じゲームタイトルで車を変える時）に、プロファイル間を簡単に切り替えることができます。すべての設定は「ライブで調整可能」であり、調整が終了するとすぐに有効になります。

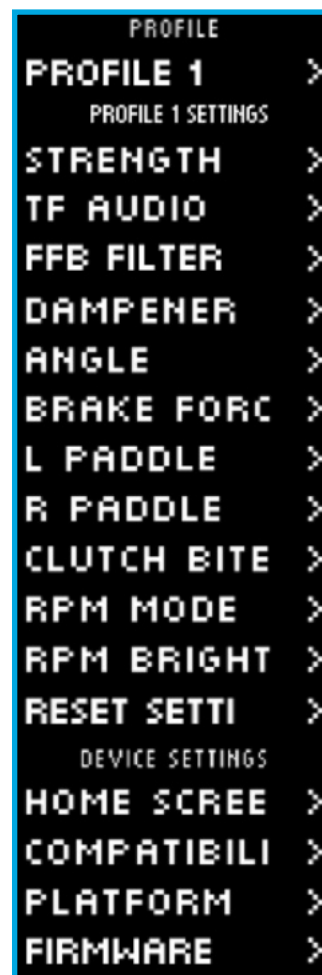
5個のオンボードプロファイルは、G HUBを使って名前を変更できます。コンソールでレーシングをする場合は、RS50 SystemをPCに接続してオンボードプロファイルの名前を変更できます。その名前は、コンソールに接続し直した際にもそのまま残ります。



メニューナビゲーション

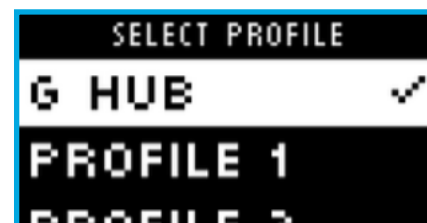
ホイールの調整ダイヤルのいずれかを使用して、メニューを上下にスクロールしたり、設定を調整したりできます。ダイヤルインを押して、選択、または選択確定を行います。

注：一部の設定は機能の有無に依存するため、ここに記載されている設定リストは、お使いの RS50 System で使用できるリストと一致しない場合があります。



プロフィール

ホイールのアクティブなプロフィールを変更します。5個のオンボードプロフィールから選択できます。PCではG HUBという追加オプションがあります。これを選択した場合、ホイールでは、G HUB内で現在アクティブなプロフィールの設定が使用されます。設定ディスプレイを使ってホイール上のいずれかの設定を調整した場合、その変更は、G HUB内の現在アクティブなプロフィールにも反映されます。



オンボードプロフィールの名前は、G HUBを使って編集できます。

強度

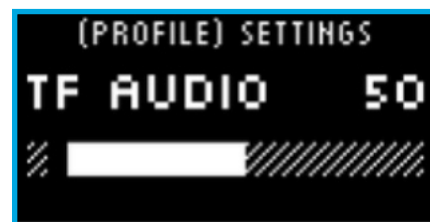
ホイールを通して感じられるフォース フィードバックの全体的な最高強度を設定できます (1~8Nmトルク)。



TFオーディオ

TRUEFORCEをサポートするゲームに対し、オーディオ効果出力の強度を設定します。オーディオ効果は、エンジン音、タイヤグリップ、路面など、レーシングタイトルの様々な要素を再現します。これを0まで下げると、さらにGAMという追加設定が表示されます。これに設定すると、ゲームのオプション画面で設定した内容が代わりに適用されます。使用中のTrueforce SDKのバージョンによっては、この機能に対応していないタイトルもあるので、その場合はゲームタイトルのオプション画面を使用して調整してください。

注：通常Trueforceオーディオの設定は、全体的な体験が損なわれることなく、追加情報を受け取れる程度の低いレベルにすることをお勧めします。実際の車のホイールを通して得られる振動レベルを考え、それを目標にしてください。一部のタイトルでは、コントロールオプションのメニュー内でより詳細なコントロールを行うことができます。たとえばエンジン、タイヤおよび道路の音を分離するなど、オーディオの個別の要素を調節できます。



フォース フィードバック フィルター

それぞれのドライビングシミュレーションは、物理演算とフォースフィードバックを異なる速度で実行します (60Hzのものもあれば、300Hz以上のものもあります)。反応性に優れたダイレクトドライブ ホイールでは、シミュレーションが実行できる限度を超える周波数を除去することが望ましくなります。これをデフォルトの自動設定のままにした場合、大多数のシミュレーションに対応し、よりスムーズな体験を提供します。必要に応じて、1 (最小フィルター) から15 (最大フィルター) までの設定でこれを手動で調整することができます。これにより、一部のタイトルが生み出すより細かい効果を感じることができます。ただし、フォースフィードバックのノイズが多少増加します。



ダンパー

この設定では、ホイールの感覚をよりリアルなものに変えることができます。ダイレクトドライブ ホイールは、旧式のフォース フィードバックホイールよりも反応性がはるかに優れており、そのため、コースの直線部分を走行する際に独特の挙動が現れることがあります。一部のゲームタイトルでは、ホイールが中央位置付近で左右に急速に振動し始めるのを感じる場合があります。これは、中央にとどまるようにという、ゲームからの信号へのホイールによる反応ですが、ホイールの反応性による過剰反応です。減衰レベルを設定することで、これを除去できますが、パーセンテージを上げるにつれて、いずれの減衰レベルでもホイールの反応性が下がることを覚えておいてください。



角度

ホイールの全体的な動作角度範囲を変更します。一部のゲームタイトルでは、これを270度のままにすることが推奨されます。そうすることで、運転している車に合った適切な回転範囲になるようゲーム側で処理されます。処理されないゲームの場合、あるいはゲーム側での処理を無効にしたい場合は、角度の設定を行うことでそれが可能になります。

特にコンソールの場合、一部のタイトルでは角度が自動的に設定されます。



ブレーキ力

この設定は、互換性のあるペダルセットをRS50に取り付けた場合のみ利用可能です。これにより、ロードセルブレーキを装備したペダルセットで、100%のブレーキを達成するのに必要な力のレベルを設定できます。レベルを調節すると、ブレーキペダルを押して、軸出力を確認でき、お好みに合わせて簡単に調整できるようになります。



Lパドル / Rパドル モード

この設定は、デュアルクラッチパドルを備えた互換性のあるステアリング ホイール (PRO GT Dステアリング ホイールなど) をRS50に装着した場合のみ使用可能です。

デュアルクラッチパドルを、複数の軸の1つに割り当てるができます:

クラッチ
アクセル
ブレーキ
ハンドブレーキ
軸A
軸B

軸A/Bは、追加の汎用軸のペアで、標準的なレーシングシミュレーションのシナリオ以外の他の機能 (例: 左右を見る) に割り当てるができます。

アクセルとブレーキによって、身体にハンディキャップのあるゲーマーでも、より細かなコントロールが必要な機能に対して不可欠なアナログコントロールを行いながら、レーシングシミュレーションに参加することができます。

ハンドブレーキ コントロールは、ドリフト走行とラリーレーシングにとって重要な要件です。

クラッチは、ホイール上のデュアルクラッチの機能性を有効にする可能性を広げます。デュアル クラッチは、レースでのグリッドスタートから最大のトラクションと起動速度を可能にする、起動アシスト機能として考えたほうがよい場合もあります。

注: デュアルクラッチ機能を動作させるには、両方のパドルをクラッチ機能に割り当てる必要があります。

コンソールのタイトルでは、ハンドブレーキ、軸Aと軸Bの機能が反応しない場合があります、ゲーム開発者が追加でサポートする必要があります。



クラッチバイト

この設定は、デュアルクラッチパドルを備えた互換性のあるステアリングホイール（PRO GT Dステアリングホイールなど）をRS50に装着した場合のみ使用可能です。

この設定を使って、使用しているゲーム/車に対してデュアルクラッチパドル軸の値を調整し、完璧なスタンディングスタートを達成します。



RPMモード

この設定は、RPM LEDを備えたステアリングホイールがRS50に取り付けられている場合にのみ使用可能です。

RPM LEDには、ユーザーが選択可能ないくつかのプリセットパターンがあります。また、G HUBで独自のカスタムパターンを作り、それをホイールのオンボードメモリに保存することができます。



設定のリセット

これにより、現在選択されているプロファイルの上記の設定をすべてリセットし、工場出荷時のデフォルトに戻すことができます。

ホーム画面

ここにあるオプションを使って、ホイールまたはペダルを設定を調整しない場合に、[設定]ディスプレイに表示される内容を変更することができます。PROホイールの設定ディスプレイには、4つのディスプレイモードがあります。

1 ダイナミック

2 テスト

3 プロファイル

4 トルク

動的

対応しているゲームタイトルを実行すると、スピード、ギア、ラップタイムなどのゲームの情報が画面に表示されます。ゲーム以外では(または情報の出力に対応していないゲームでは)、ディスプレイはテスト機能に戻ります。

テスト

ホイールがオンになっており、レーシングゲームタイトルが実行されていない場合、デフォルトではディスプレイにテスト画面が表示されます。この画面でホイールを動かし、PRO Racing Pedals (装着されている場合) のペダルを踏むと、軸の反応を確認できます。

プロファイル

現在ホイールが設定されているプロファイルが表示されます。

トルク

ホイールのライブと平均トルク出力を表示します。

互換モード

特にPCでは、一部のレーシングタイトルはRS50を自動的に認識しません。これが発生した場合、通常はゲームのコントロールを再構成して、動作するようにRS50を割り当てることができますが、一部のゲームでは、PROホイール互換モードを有効化した方が簡単である場合があります。また、コンソールの一部のゲームタイトルは、ハンドルコントローラーがProホイールの互換モードになっていないと認識されません。

互換モードでPROホイールのオプションを選択すると、ホイールは再起動し、PC/コンソールでは、それがPROホイールであるかのように見えます。このため、PROホイールをネイティブサポートするゲームでは、動作するようにホイールを自動的にセットアップします（互換性のあるペダルセットをホイールに取り付けることも重要です）。

注： PCでPROモードにすると、G HUBでハンドルの強度を11Nmに設定できるようになります。これは、そのハンドルの最大出力だからです。その値を設定しても、RS50の強度は8Nmに設定されます。これは当然ながら、RS50が出力できる最大トルクである8Nmを超えることはできないためです。

プラットフォーム

デフォルトでは、RS50は電源を入れた時に、毎回使用したいプラットフォームを選択するよう促します。これを防ぎたい場合は、ホイールが常に1つのモードで開始するように強制することができます（たとえば、PCでのみプレイする）。プラットフォームの設定には以下の複数のオプションがあります。

- 起動時（デフォルト）
- コンソール（お持ちのRS50と付属のステアリング ホイールのバージョンによって変わります）
- PC

希望の選択肢を選ぶと、次回ホイールの電源を入れた時に、そのオプションが自動的に選ばれます。

ファームウェア

RS50のメインおよびドライブの現在のファームウェアバージョン、および接続されている周辺機器を表示できます。

G HUBおよびカスタムRPMパターン

ロジクールG HUBによって、PROホイール上で以下の機能を有効化できます：

- プロファイルによるボタンのプログラム、ゲームにリンク可能
- 回転角度やTRUEFORCE強度などのホイール設定の調整
- カスタムRPM LEDパターンの作成
- オンボード メモリ内のゲームプロファイルとカスタムRPM LEDパターンを編集
- ホイールの様々な軸をテスト

G HUBホイール設定

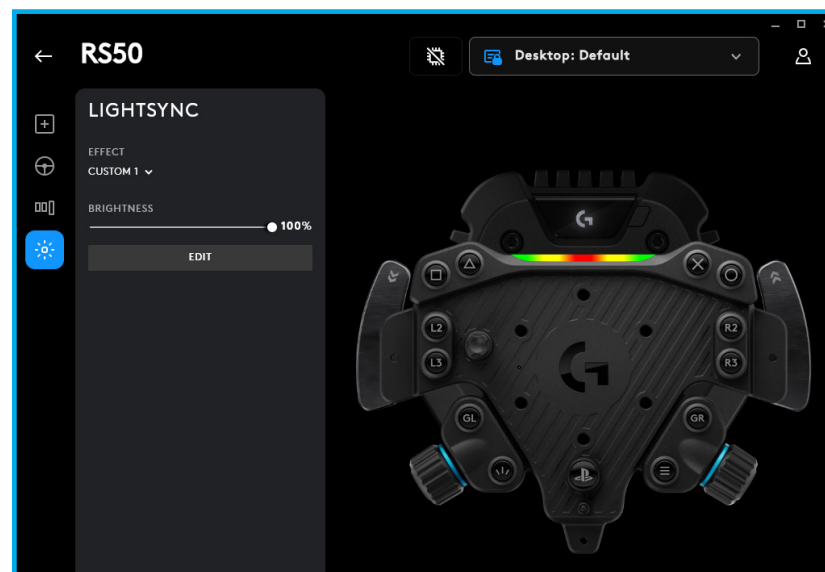
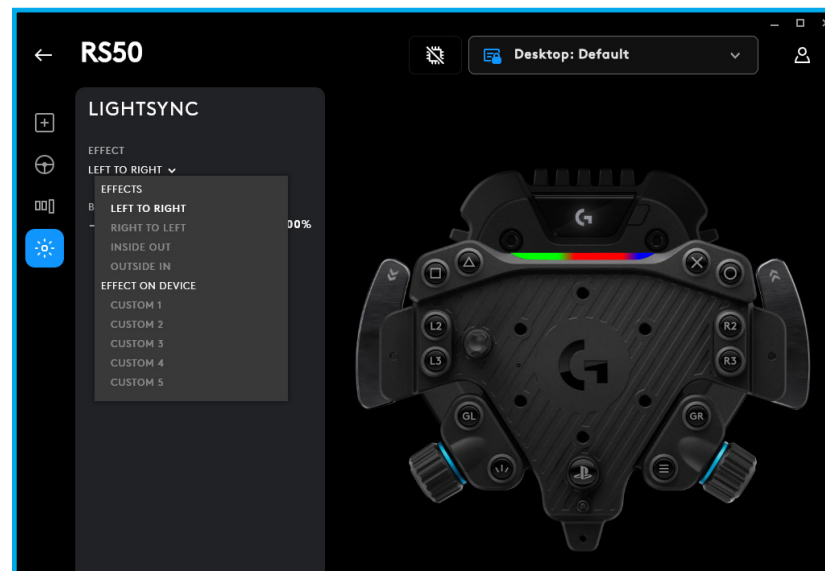
感度

ホイールの出力反応を変更し、感度を増減させます。このスライダーを50%のままにすると、リニア1:1出力になります。51%~100%にすると、ホイール中央付近の感度が上がります。0%~49%にすると、ホイール中央付近の動きの感度が下がります。

その他のすべての設定は、ホイールベース上の[設定]ディスプレイ内の表示と一致し、マニュアルに前述されています。

カスタムRPMパターンの設定

ドロップダウン メニューをクリックして、デバイス上の効果の1つを選択してから、[編集]ボタンをクリックします:

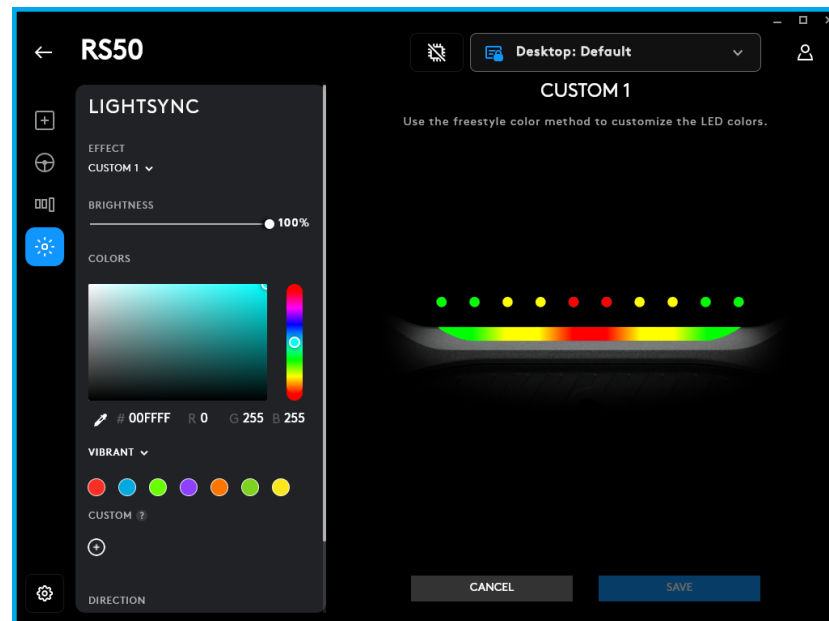


左側に、色ピッカーが表示されます。メインカラーのセクションでは、色の陰影は長方形の左から右にかけて変化し、色の明るさは長方形の上から下にかけて変化します。

長方形の下、中に+記号がある円をクリックして色を保存することができます。LEDの1つに色を割り当てるには、色を選択してから、右側の画像内のLEDをクリックします（マウスアイコンがペンキのバケツに変わり、LEDにその色を「ペイント」できることを示します）。

その下には、PROレーシングホイールに付属のプリセットパターンが含まれるドロップダウンメニューがあります - お好きなパターンを選択します。

終了するには、上部のテキストを選択して、自分の名前を入力してから、下部の[保存]をクリックして、パターンの名前を変更します。



推奨されるメンテナンス

RS50は、数百時間動作を継続し、使い始めた時と同じ快適性を維持できるように設計されています。ただし実際の車と同様に、簡単なメンテナンスを定期的に行うことで、ホイールを常にきれいな状態を保つことが推奨されます。

定期的なメンテナンス（週1回）：

- ホコリが溜まらないように、ホイールベースのクイックリリースアダプター周辺にある前面の通気口と、アルミケーシングに掃除機を使ってください。
- ステアリング ホイールを清潔な湿らせた布で拭きます。

ファームウェア更新

ファームウェア（埋め込みソフトウェアとも呼ばれる）は、RS50のすべての機能を制御するコードです。ロジクールは、機能性を強化するために、定期的にファームウェア更新をリリースする場合があります。これらはG HUBを通して利用可能であり、更新が利用可能になると、ユーザーは通知を受けます。



©2025 Logicool.株式会社ロジクールは、Logitech Groupの日本地域担当の日本法人です。Logicool、Logicool G、Logiおよび各ロゴはLogitech Europe S.A.および/または米国およびその他の国における関連会社の登録商標です。

「PlayStation」はSony Interactive Entertainment Inc.の登録商標または商標です。Sony Interactive Entertainmentの認可を受けて製造および販売されています。

Windows 10/11はMicrosoftグループの商標です。その他の商標はすべて、それぞれの所有者の財産です。ロジクールは、このマニュアルに存在する可能性のある誤記に対して一切責任を負うことはありません。ここに記載されている情報は予告なく変更される場合があります。

WEB-621-002615 002